

鎌倉市公共下水道経営戦略2026(素案)に対する意見内容と市の考え方

No.	該当ページ	意見内容	市の考え方
1	P44	受益者負担が必要であり、古い設備や配管の刷新が十分にでき、黒字経営ができるような料金に値上げしないと仕方ない。民間のように維持管理、事業継続を考えた経営をしてください。	鎌倉市公共下水道経営戦略2026(素案)では、計画期間内における支出と収入の試算を行っており、下水道使用料については、令和8年度(2026年度)、令和11年度(2029年度)、令和16年度(2034年度)において3回の改定を予定しています。 鎌倉市公共下水道経営戦略2026の基づき、今後も計画的かつ合理的な経営を行うことで、将来にわたり市民に安全・安心な下水道を提供していきます。